

講座に外国人の視点

県内3中国人が企画提案

県労福協



外国人自らが講座内容を提案した公開プレゼンテーション―徳島市のわーくびあ徳島

徳島県労働者福祉協
議会は、県内に住む外国人向けにわーくびあ徳島(徳島市昭和町3)で開いている講座の一つを、外国人の考えや視点を取り入れた内容にする。15日、わーくびあ徳島で公開プ

レゼンテーションを行い、中国人3人が自らの企画内容についてアピールした。県労福協は「外国人が能動的に受講し、学習意欲も高まるのではないかと

している。徳島市の会社員任恵

絹さん(37)は「観光情報発信・日本語講座」を提案した。観光地の魅力を会員制交流サイト(SNS)で発信したり、観光に関する日本語を学んだりする内容で、「観光関連企業への就職のほか、外国人の誘客にもつながる」と訴えた。

任さん以外の2人はホームページを作成する講座、ブログでアフィリエイト(ネット広告)による収入を得る方法を学ぶ講座をそれぞれ開くよう求めた。中国人3人のほか、タイ、米国など4カ国の5人が「日本語発音講座」「労働・国際結婚に関する法律を学ぶ講座」などの企画内容について文書で提出している。

県労働者福祉ネットワークの久積育郎理事長らが審査し、就労への効果やニーズの高さなど7項目で採点。1講座に絞り込み、来年1〜3月に開く。

(萬木竜一郎)